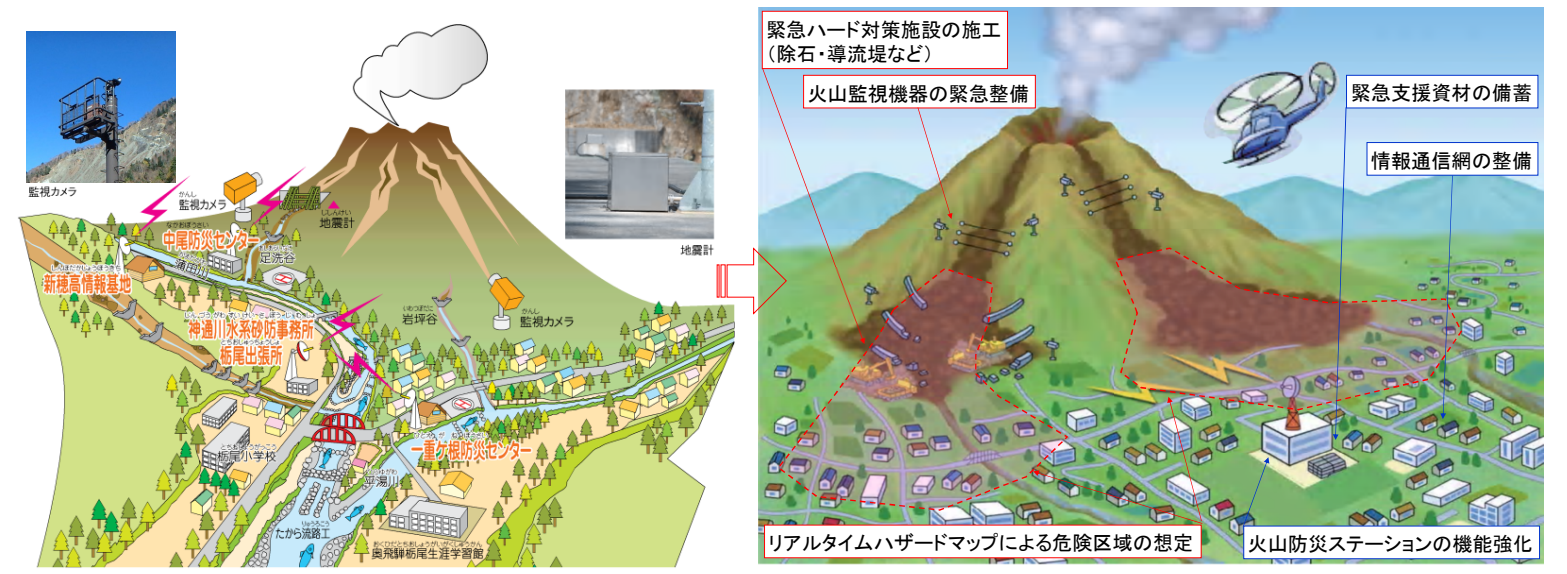
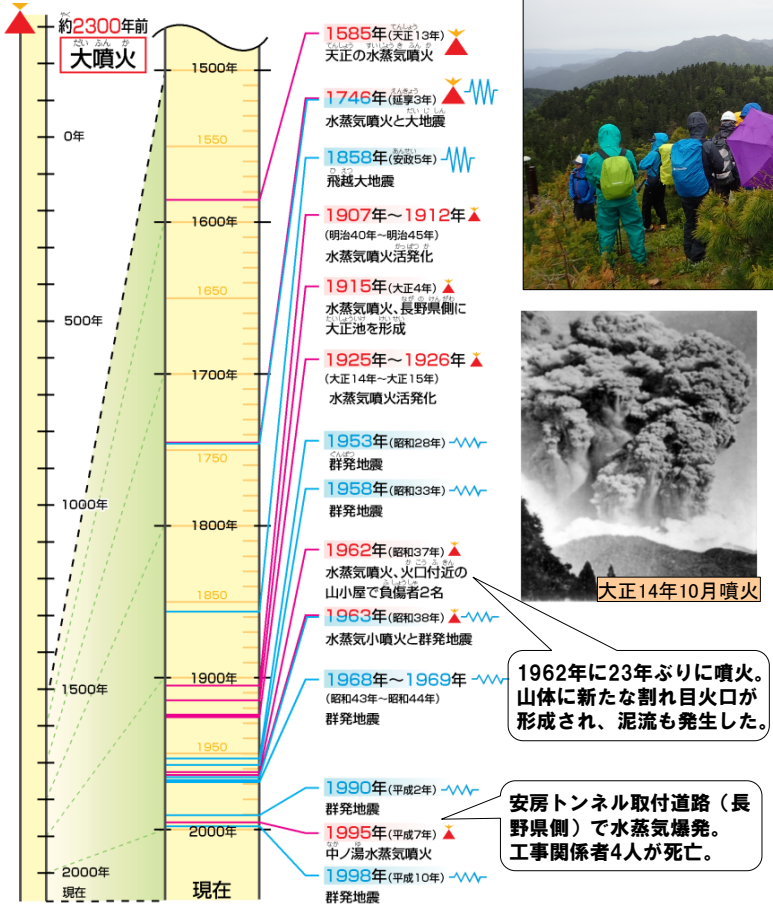


火山噴火緊急減災対策砂防計画は、いつ起こるか予測が難しい火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して、**ハード対策**と**ソフト対策**からなる緊急減災対策を迅速かつ効果的に実施し、被害を軽減（減災）することを目的に、全国49火山にて策定が進められており、焼岳は平成23年6月に『**焼岳火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会**』※1によりとりまとめられています。この計画に基づき、緊急除石や導流堤などのハード対策検討を進めるとともに、平常時より関係機関との合同訓練実施など、顔の見える関係構築を進めるなど、地域の安全度向上に取り組んでいます。

※1: 火山専門家、砂防専門家、高山市、松本市、飛騨市、岐阜県、長野県、国土交通省等がメンバー



焼岳噴火と地震の年表



1962年に23年ぶりに噴火。山体に新たな割れ目火口が形成され、泥流も発生した。

安房トンネル取付道路（長野県側）で水蒸気爆発。工事関係者4人が死亡。

